2008年6月14日

価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000 円 3,500 円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 FAX03(3207)3918

発 行 人 内 藤留幸 編集主筆 竹 澤知代志

部

京都・

東京•兵庫

件」「秋季按手礼式執行に関

歳入歳出予算案に関する

する件」

横山良樹(半田)、田口博

【教職】高橋潤 (中京)、

教団総会議員選挙結果

己餐問題が議論の焦点

宛に出された「要望書」に た教会・施設の再建につい **廻師の不祥事について、そ** 餐式が執行された。 た内容について、常議員会 に北村慈郎常議員が発題し たのは、二〇〇七年七月 問題意識を持って議論さ いて、愛知教会黛八郎伝 要望書」に関しては「懇

談が教団新報に載った経

礼拝では「荒野で聴く言葉」 定期総会が行われた。 開会 と題して説教が行われ、 **吾二〇日 (火) ~二** (水)、第5回中部教区 聖 された。「それぞれの教会の るか」まで幅広い意見が出 緯」から「聖餐をどう考え ならない」等、 伝統や背景を考慮すべき」 「教憲教規で切り捨てては 未受洗者陪

どで決議すべき」「牧師が未 が出る一方で、「聖餐に対す の意見が切り捨てられる」 る見解は各個教会で決議す 餐を否定しない立場の発言 教区総会な

高橋潤議長からは「退任 現状について、 七尾教会牧

ることが必要」との見解が ために、一度同じ土台に戻 示された。 勧告は命令ではないこと」、 「同じテーブルで話し合う

師が悔い改めの訓練を受け げられた時にも行われた。 団問安使により山北宣久教 黛教師に関しては「当該教 る機会を持つ事が必要」と 団総会議長の挨拶が読み上 同様の質疑は内藤留幸教 れ

能登半島地震被災教会の 受けて、「能登半島地震被災

状況が訴えられた。これを

が損害を受けている事な ある事、魚津教会からは再 のひび割れが拡大した観が 羽咋白百合幼稚園の再建計 富来伝道所の解体を終え、 建が進む一方、羽咋教会は ど、引き続き支援が必要な 観光拠点の景観が損なわ 建感謝の報告がなされた。 画を慎重に進めている。 島教会は余震によって会堂 輪島塗などの基幹産業

師館改築、七尾幼稚園の再

中部 れた。

名の教師が准允を受けた。 って、総会で承認された三 二日目は議事再開に先立 募金へ献げる件」が決議さ 額として献金を募る件」「能 会堂等再建支援委員会支援 備金より2000万円を 所および関連施設の再建の 登半島地震被災教会•伝道 年度に1800万円を目標 諸教会・伝道所で2008 設の再建のために中部教区 教会・伝道所および関連施 ために中部教区特別会計準 能登半島地震」被災教会

委員会より求められている また教団の機構検討特設

教団総会議員数削減をめぐ



としての内実を整えること 小数者の切り捨てにならな いかという意見と教会会議 っても時間が割かれ、 正議員枠を撤廃することが 推薦 の大切さ等が述べられた。

山鹿島町)、西尾勝雄 (愛

矢部勉 (輪島)、衣川正氣

(金沢南部)、永井勝 (富

北)、木村繁子(中京)

(辻順子報)

教実施目標」「名古屋新生教 会種別変更」「2008年度 下である。「二〇〇八年度宣 その他決議された議題は以

(富山鹿島町)、中島聡 (如) 大杉弘 (若草)、中村友之【信徒】本弘禮子 (津)、 鷺)、町田久子(幸町)、釜 之(名古屋桜山)、井ノ川 古屋北)、小森純江(四日 小宮山剛(富山二番町)、 勝(山田)、加藤幹夫(阿漕)、 市)、上村清(富山二番町)、 土達雄(七尾) (各務原)、阿部美男(名

名古屋中央教会を会場に、開会時正議員 178 名が出席

は行く権利も行かない権利 が再開され「選出された人 七人の按手礼が執行された もある」ことをふまえて選 二日目朝、三人の准允と 教団総会議員選挙の件 |えて修正の後、「抗議」と 京都教区が国家と教会の問 題に取り組む件が採択さ 教団三里塚教会」に連帯し 「見解」が承認された。 その他建議案、「日本基督

波新生)、美藤章 (近江八 井上勇一(洛南)、大澤宣 幡)、横田明典(近江金田)、 谷村德幸 (水口)、入治彦 (紫野)、竹ヶ原正輝(丹 (京都)、山田真理(上鳥羽) 【教職】望月修治(同志社) 教団総会議員選挙結果 決議された。

押本年眞(丹波新生)、矢島 うの木)、原田潔(大津東)、 哲夫(醍醐)、菅恒敏(京都)、 口)、谷口ひとみ(八幡ぶど カネコ(膳所)、造田弘司(水 【信徒】志賀勉(紫野)、奥野

第72回京都教区定期総会 五月五日から二日間 今後の対応については、ま ず教区総会で「抗議」と

る」「多様性とは何か。教

団は信仰告白と教憲・教規

況との関わりで常置委員会

する件では、現在の教団状

の意味は祝福という象徴行

為であり権威の委譲ではな

京都

関する件では、二〇〇一年

准允式・按手礼式執行に

度按手礼・准允式検討小委

員会の答申に基づき「按手

人だけが手を按く仕方で、 正教師按手式執行 京都丸太町教会で開催さ 告」について『宗都教区常 の意見が出され、望月修治 会時一一六人が出席した。 置委員会は

教団の一方的で 議長は教区総会議長報告の てから議事に入るべき」と 幹事報告の取り扱いにふれ 拒否ならびに教団議長と総 部を朗読し、「教師退任! 組織会の後、「教団問安使 正議員一五五人中、 の挨拶と総幹事報告につい えます』と述べ、教団議長 ては「回収するつもりはな 立場を明らかにしたいと考 い」と述べた。 および常議員会宛に教区の 「見解」を決議し教団議長 昼食後の教区総会議長報

け入れを拒否しました。 こ 議の意志として今回の教区 横暴な執行体制に対する抗 の問題に対する京都教区の されていない。 基本方策を巡る協議会で 場の抗議に反対。二〇〇二 年の教区総会での教区宣教 告に関する件で、「一方的立 教団信仰告白による一

致は前提であるとの見解が

切り捨てないよう要望す

る」「手続き論が主張されて を覚える」などの議論が続 行うことが教規違反であ にされていないことに危惧 いるが、聖餐の中身が問題

教団総会議員の選挙に関

制定経過は不明であり、準 決で教師資格を奪うような ではないか」との意見が続 則違反を根拠にして勧告を き、望月議長は「聖餐理解 によって一致しているはず べた。続いて「教規準則の 行為への抗議である」と述 についての一定の見解を出 しているのではない。多数 果的に教団総会の正当性を 質を食い止める勢力の存在 定するかのような偏向と変 がある一方で「議員を送り、 与えてしまう」などの意見 ではない」「教団執行部に結 で選挙することを提案する で協議し、総会出席の方向 べきである」「教団全体を考 を知らしめ問題提起をする た。これに対し「選ぶべき に至った経緯が述べられ 一九六九年の機構改正を否

目に継続となった。 え異論を主張し続けるべ 結論を得るに至らず、 日

である。按手は、総会を代 がら発題し『「多様性」 か 認された。 であることが述べられ、 る経過を資料で振り返りな く」ことを踏まえての執行 表して議長一人が手を按 はなく神であることの確認 い。准允は、選びは自分で 議長が、教師退任勧告を巡 日目夜の協議会は望月 承 時期尚早との意見が相次 ぎ、継続となった。 挙に入った。 討委員会」設置については、 備された。「京都教区改革検 革にむけた議案のうち「京 され、新たな支援体制が整 会計」処理については承認 都教区教会謝儀支援規則」)関連した「教職謝儀補助 吊置委員会提案の教区改

つ」との教憲前文を捨象し その歴史的特質を尊重しつ かにされるかの問題。「各々 「一元化」か、どちらが豊 べき」との意見が続き、協 師退任勧告」問題への対応 で行くならそれに集中する に関する件では、「手続き論 教団常議員会による「教 中尾義人(丹陽)

林牧人報)

議会での議論の成果もふま

第63回奥羽教区定期総会

議に基づき、教区内教会・

伝道所から約一二五万円の

2008年6月14日 て開催された。開会時には 奥羽キリスト教センターに 名出席した。 正議員が一一二名中一〇二 開会礼拝、 吾二日~二日 総会成立に必 目標額(二百万円)を満た 区会計から不足分を補填し 献金が献げられたこと、教

したことを報告した。 退任

を満場一致で承認、 が取り扱われ、これ の教師が新たに立て 准允式を執行。四名 ちに「准允受領願い」 安な諸手続き後、

次のとおり

教会・伝道所の約六 分の一で教師異動が て次の点を述べた。 原宗男議長が主とし 〇七年度、教区五九 議長報告では、

教 寸 減少は憂慮すべきこと」と なってくる」また「教勢の 制による宣教協力が課題と あり、今後さらに「兼務体 全体として後継者育成に心 を配り」教会青年の集い、 ことに励み」、特に「教区 「教区の宣教を共に担う ながらも、この状況の中

帯金に「協力しないという 動連帯金受給教区として、 ユースサマーキャンプなど 接影響が及ぶこと、また連 〇万円減は、教区会計に直 **埋帯金が「重要な収入源の** し取り組んできた。 教区活 つ」であり、前年比約五

第 4652 号 教区があり課題」であり「教 団決議の軽視である」とし 謝恩日献金への取り組 35教団総会決議(謝

(第三種郵便物認可)

事柄であると述べ、準備さ も多岐にわたり大切で重い 題は、歴史的にも現実的に

の按手礼式が執行された。 され、七名の准允式、二名

教100年」に関する件は、

「合同のとらえなおし」の

「宣教150年」及び「宣

不正流用問題報告に関する

兵庫教区謝儀保障要綱

リスチャン・センター会計

の通りである。兵庫教区ク

可決された主な議案は次

「合同のとらえなおし」-

教団常議員会教師

書記

開催された。

新

退任勧告」取消要望決議

課題について報告、終わり

上程され、審議された。

村慈郎教師退任勧告決議」

取り組みを提案する件 めに、対話を重ね、具体的な をこれ以上繰り返さないた

取り消しを要望

兵庫

日本基督教団第35総会期第 として可決された。【議案】

会に以下の議案を提出する

シュアル・マイノリティ差別 性愛者をはじめとするセク

に教区が課題として担う問

る件は、昨年同様教区議長

する件。

准允・按手礼執行に関す

人での執行が提案、可決

を会場に正義員二一四名中 十八・十九両日、神戸教会 兵庫教区定期総会は、五月 五〇名(開会時) 「合同」後39回 が出席

戸)、古澤啓太書記 災の関係で、教団総 川上盾副議長(東神 挙が重なる。林邦夫 会議員選挙と、教区 議長(兵庫松本通)、 一役、常置委員の選 兵庫教区では、震 れた以下の議案が今総会で

林邦夫議長、古澤啓太書記

庫教会)によって、

目、村山盛忠教師(兵

関する件は、第一日 退任勧告決議問題に

以下の議案を提出するとし 視点から第3回教団総会に

恩日献金の八千万円増額) (神戸東部) が選出 菅根信彦議長は

に応じた昨年の教区総会決

議長報告で宣教の

講演の時を持ち審議

出するとして可決された。

連帯献金継続に関する件が

中村哲男(はりま平安)、

上

【議案】日本基督教団が、

帥50年の歩みをふま

題は、教団・教会の

『未受洗者配餐問

開催を中止する件。

本伝道150年」記念行事 て可決された。【議案】「日

長田センターにおける今後

する件。被災者生活支援、 件。教区施設特別資金に関 機構組織見直しに関する 改正に関する件。兵庫教区

塚)、西澤他喜衛(甲東)、竹 田和浩(尼崎)、佃真人(宝

【教職】 菅根信彦 (神戸)、

教区常置委員選挙結果

の取り組みに関する件。第

三教課題』 — 教団教

セクシュアル・マイノリティ

同性愛者をはじめとする

35総会期「教団機構検討特

岡)【信徒】森章 | (神戸栄 進 (神戸栄光)、小林聖 (豊 内富久恵(神戸愛生)、白井

設委員会」答申に関する件。

答申したが、これに

4 名の教師が立てられ、奥羽の地での働きに 団議員定数改訂案を 設置された教団機構 教団常議員会の下に 関する教規変更」は、 検討特設委員会が教 教団総会議員数に

| 勧告決議について「奥羽教 | 合按手執行問題等、決議に |区は未受洗者への配餐を容 つ、しかし当該教区を越え た手続きの不備、決議が上 こと、また福音主義教会連 告手続きを閉ざしてしまう 認することはない」としつ 議された主なことは 疑義を感ずるとし 常置委員会提案 法定議案以外で審 りとし、結果、教勢配分を 教区案は、各教区選出議員 のみの変更案が教団総会に 減ずる案となっている。 総数、現行三七〇名を三百 止しないことを提案する。 のまま、また推薦議員を廃 現行(教師・信徒各三名) 名とすることは答申案どお 信徒各一名減、推薦議員廃 答申案は、定数配分教師・ 止を提案している。ただし 柔が可決され、教規第一条 原

具体化し、花輪教会が大館 教会の合併について検討が 両教会の合併と花輪教会の 解散の承認。〇七年より両 会と花輪教会の合併」は、 常置委員会提案「大館教

常置委員会は改訂試算表等 教区対案を提出するもの。 案では、各教区定数配分を により教区案を検討。教区 された。 た。合併申請を議員の起立 教会に吸収合併後、 ることが両教会で決議され

奥羽

五二年に伝道所として開設 をもって承認した。花輪教 会は秋田県北部伝道で一九

時間半以上残してすべてを 議事は、予定時刻まで一

教会が直接、教団の課題を ての挨拶の時間が設けられ 問安使との質疑、討論に用 教団副議長には問安使とし いた。議事の中でも小林眞 有効に貴重に用いられた。 なお残された時間も

聞き、教会、教区の現状を

終了。残された時間を教団 ない時間である。 教団に公に伝えるときは他 にはない。意見、

教区総会に欠くことのでき いが明らかになるとしても 見解の違

教団総会議員選挙結果

【教職】岡村宣(鷹巣)、邑原

戸清(野辺地)、山口義人(男

桜)、松村重雄(弘前南)、白宗男(江刺)、雲然俊美(秋田

【信徒】鈴木務(秋田高陽) 鹿)、願念望(青森松原)

三上敦子(田名部)、浅沼千 春(秋田桜)、半澤清次郎(一 友清子(秋南)、守屋ミヨ子 関)、松尾亨(青森松原)、大

(渡邊義彦報)

「さらに西へ」開拓伝道決議

西東京

会上の配慮という観点に基

教規的根拠、更には伝道牧

席で開催された。 会を会場に、開会時で正議 員二〇五名中一三六名の出 二五~二六日、阿佐ヶ谷教 西東京教区総会は、五月 今総会は、ある信徒議員 |いて、「聖礼典を正しく執行 | で一時間を切ったタイミン 張が繰り返され、何度も修 て形をなしていないから取 の取扱いを巡り、「議案とし する意思表明に関する件」 り下げるべきだ」という主

う違法行為による問題提 餐」「未受洗者への配餐とい 餐礼典」「未受洗者への配 グで上程された。「違法な聖

間延長されたが、発言中に

延長時間が尽きた。吉岡光

劾の様相を呈した。再三時

等の指摘がなされ、非難・弾

が間違っている」「不適切」

由の一字一句にまで、「表現

立した。また、議案・提案理 づいた賛否両論が激しく対

起」この三点を「慎む」とい

「二つの陣営」…が例年にな の発言を借りるならば… い程に、鋭く対立した。 冒頭、議事日程承認に於 正案が提案されるなどした

が、修正案は全て少数否決 この議案は、閉会予定ま

の是非、聖書的或いは教憲・ の取り下げ主張が蒸し返さ う内容であった。総会冒頭 れた後、未受洗者への配餐 人議長はその収拾に努めた

高に議長に迫り、議事は混 が、「時間切れによる自動的 廃案」を主張する議員が声

育の歩み全体を検証し、今 役割を明らかにする件、 日の教会の教会教育課題と 常置委員会付託となった。 眞副議長の挨拶を受けた。 た。また教団問安使・小林 徳副会長の来賓挨拶を受け 韓基督教会西部地方会裵明 会張顯爵議長及び、在日大 台湾基督長老教会高雄中 砂)、岡本知之(西宮)、車田 西澤他喜衛(甲東)、上内鏡 真人 (宝塚)、川上盾 (東神【教職】 菅根信彦 (神戸)、佃 誠治(龍野)、小林聖(豊岡) 子(神戸イエス団)、白井進 生)、林邦夫 (兵庫松本通)、 (神戸栄光)、手束正昭(高 教団総会議員選挙結果 竹内富久恵(神戸愛

見山)、三井誠(加古川東) 門戸)、冨士原進(姫路福 上田律子(御影)、高寺幸子 宮本真希子(甲東)、柳谷舟 【信徒】森章一(神戸栄光)、 音)、有森和可奈 (北六甲)、 (武庫之荘)、二宮満雄(西宮 子(甲南)、津村正敏(明石)、 森里信生(関西学院) 議員六名中五名が、強い批 べた。立川駅にほど近いレ 的な要望はあったが、全員 関する件」では、注文や付加 判の意見を述べた。 連記となった。 が原案に賛成する意見を述 も「退任勧告に触れられて 議員会の所謂教師退任勧告 (開拓伝道準備委員会活動 ンタルスペースで、主日夕 会設置ならびに委員選任に について、発言を許された ない」との批判があった。 尚、教区議長挨拶の際に 問安使挨拶では、教団常 教区開拓伝道実行委員

訴え る高橋豊年金局長

制度の充実を、情熱を込めて 常置委員は、 質疑で「信仰 の一人大村栄 推進の責任者 方針が可決さ 体で取り組む れた。この際、 進し、教区全

乱、その後の取り扱いを巡 同じ発言者の顔触れ•同じ 教団問安使挨拶でも、殆ど 性に鑑み、常置員会で審議 っても激しく対立した。 案として可決された。 ための配慮をする」との提 があり、結果これが修正 、何らか議論を継続する 教団総会議員選挙でも、 (乱の中で、「事柄の重要 規に則った開拓伝道を目指 な反対はなく可決された。 う内容の「教団年金を守る 目標として努力する」とい す」と答えた。 件」も、質問はあっても大き 献金としてささげることを 「経常収入の1%を謝恩日 ための教区推進案に関する 常置委員選挙結果(半数 また、各教会・伝道所が 告白•教憲教

ような図式と見える仕方で | 議(更生)、大村栄(阿佐ヶ| 【教職】川村博(調布)、原田 改選) 豋

投票を」という主張がなさ 半数連記を「倍数候補を挙 げて所信表明を聞いてから くべき…全数連記ではなく 選挙では「少数意見に聞 松進(東中野)、宮下重康(玉 【信徒】高津博(大宮前)、平

れたが、結局従来通り全数 神大 康子(吉祥寺)、山口隆康(東 辺)、岩田昌路(狛江)、吉岡 生)、河村博(調布)、山畑謙 (阿佐ヶ谷)、真壁巌(相愛)、 道家紀一(井草)、原田謙(更 若月健悟(国分寺)、大村栄 (小金井緑町)、久山庫平(河 【教職】吉岡光人(吉祥寺)、 教団総会議員選挙結果

康(玉川)、島林樹(吉祥寺)、 之(狛江)、島田弘道(石岡記 原威男(阿佐ヶ谷)、井田昌 川原正言(南三鷹)、宮下重 念)、五十嵐昭一(国立) 渡邊豊明(小金井緑町)、折 前)、小中乃芙子(永福町)、 【信徒】高橋豊(白鷺)、平松 進(東中野)、高津博(大宮

報告書の表題)の伝道を推

沢山の宣教師が涙で迎えてくださった クレアモントで

大歓迎を受けたホランドの晩餐会で

ームステイ 2 泊、愛情を注がれた プレザントヒルで

22 23 23

一日(水)まで、山北宣久

ビル・クニッツ氏の歓迎の

四月十四日(月)から二

(報告▼大宮

世界宣教委員会

主の教会の一体性を経験 溥 イス」である。ここは米国 退任宣教師感謝ツ

されている先生方を訪問 の感謝すべき年である。日 仕され、現在退任して帰米 れているが、その第一とし くつかの記念行事が予定さ 本基督教団においても、い 100九年は日本プロテ 日本で宣教師として奉 感謝と交わりの時をも えている。近郊に住んでお ク先生はじめ、三〇名を越 ったショーラック、クラー れる。教団宣教師であった 独立した家屋に住んでおら ってくださった。 られる数名の先生方も集ま 方々はお世話をしてくださ に開かれており、それぞれ 十四日に着いて歓迎を受

博子 (世界宣教)、深谷松 大宮溥が副団長となり、棟 居勇(宣教師人事)、上田 教団議長が団長、伊藤瑞男、 (関東教区) など十七名が 最初に訪問したのは、ロ (学校関係)、原田史郎 クレアモントにて 退宣教師の方々に感謝の記 よる報告があり、懇談した。 拶と感謝、日本の現状につ 挨拶のあと、山北団長の挨 ピルグリム・プレイスと隠 深谷松男 (学校)、原田史 いての、大宮溥(教団)、 (社会事業同盟)各氏に

グループは八名で(山北、 員は二グループに別れ、

Α 団

ロサンゼルス以後は、 ホランドにて

教

寸

新

団で施設内ツアー。 昼食を在住者全員の参加 一初の宣教師を送ったオラン 州ホランドを訪問した。 こ 葉信一、望月陽子、杉本亮 こは一五〇年前に日本に最 子、横山利江)、ミシガン 大宮、上田、矢崎邦彦、千

サンゼルス郊外のクレアモ

ントにある、隠退宣教師の

ム「ピルグリム・プレ

ピルグリム・プレイス総裁 け、翌朝感謝会を開いた。 合同教会の創設した施設で あるが、諸教派の隠退教師 |も活動的な先生たちの生活 彦牧師。キリストの教会と ことを改めて認識させられ サンゼルス・センテナリー 会の直面している問題につ 先生の司会により日米両教 激を与えられた。 活動を伺い、われわれが刺 所内、教会、社会における われわれに協力された、口 に触れた。夜は先生たちの、 ・メソジスト教会の久山康 いて懇談した。閉会礼拝は、 して、われわれが共にある 三日目は、ブラウンリー | ダ改革派教会(現在のアメ 拝を四回守り、ホープ大学 ・グラウンド。日曜日の礼 リカ改革派教会)のホー 行け」と言われるのが、本 ト教国アメリカに触れたけ ン神学校を訊ねて、「キリス 人以上が出席)、ウエスター (夕礼拝に学生を中心に千 ヘッセリンク先生、マギ

名の宣教師たちと二時間半

就(担)菅野百合子

就(主)中尾順子

の感謝会、交わりをした。

モントリートにて

八幡西

辞(担)奥村益良

阿佐ヶ谷

就(代)高橋和人 就(主)小野厚子

よきサマリヤ人

辞(主)本澤喜一 就(主)大屋正博

を深め、感謝の壁掛を全員 ケッチ(講演)等で交わり ス・インに、隠退宣教師等 施設等を訪問した。十九日 約二〇名が集われた。晩餐 いただいて、教会、学校、 イマン先生の日本伝道史ス 後日本側の挨拶と感謝、 (土) 夕刻に宿舎のハワー -先生両夫妻などにご案内

ゼルスに戻った。 神学校を訪問して、 た。クレアモントの教会と

総幹事初め幹事職員の方々一十七日と十八日ホームステ アメリカ改革派教会のオフ グランドラピッド市にある ィスを訪問、マイケルソン 二一日 (月) には隣接の のプレザントヒルにあるア 関係の避暑地の共同体で、 ップランド隠退村へ。 アップランドは、UCC 二〇キロ西へ移動、 ノックスビルから、車で

大都会でなく地方に 教師の方々が高齢化してこ 機を得た訪問であった。 られた折でもあり、誠に時 成田空港に着いた。退任宣 ループと合流し、二三日 港を出発し、シカゴでBグ 会との宣教協約の協議も行 (水)の午後、全員無事に 翌朝グランドラピッド空

報告▼伊藤瑞男

クスビルへ飛んだ。 ダーとしてテネシー州ノッ 団長・伊藤瑞男牧師をリー グループ九名は十七日、副 を訪れたあとAとBの二グ 行十七名は、クレアモント ループに分かれた。我々B 退任宣教師感謝ツアー プレザントヒルにて 世界宣教委員会委員》 謝夕食会をレストランで開 が夕刻、早速教団主催の感 長老教会の拠点の一つであ クマウンテン長老教会との く。一〇名の方々が出席し 二つの礼拝に出席、 てくださった。 トリート長老教会とブラッ 翌二〇日は主日で、モン さらに、そこから進んで、

リートから、帰途についた。 教師宅訪問など多くの出会 会、老人ホーム、モーア宣 許された。午後は歓迎昼食 も礼拝の中で、教団からの いと再会。翌二一日モント 感謝の挨拶を述べることを いずれ 富山新庄 日野原記念上尾栄光

辞(主)清水義彦

辞(兼担)田邉優子

お

いバス旅行を手配してくだ 団を代表して感謝を表すだ 再会を目的としており、教 大きな恵みとなった。 も与えられた。また、思い けでなく、個人的な喜びを の多くは宣教師の方々との してくださった方々、楽し たことは、我々にとっても に勝る歓迎を受け、喜ばれ 強行軍であったが、我々 行田 島之内 久我山 至 崗 就(兼主)山本有紀 就(主)中島正勝 辞(代)宮本旻祐 就(担)山野忠男 辞(主)山野忠男 就(主)小鮒 辞(主)小鮒 辞(担)山野裕子 辞(担)尾崎風伍 就(代)久山庫平 辞(主)金井俊宏 就(担)山野裕子

師との懇談などすばらしい文歓会、隠退村の見学、牧イをして、歓迎会、感謝会、 時をもった。 西が丘 辞(主)奈良いずみ 務局

幹事等で、今年秋に予定さ れている教団と米改革派教

山北議長とマイケルソン総

ホームを訪問、そこに入所 ッシュビルにあるメソジス トのブルックスハウエル・ 動、ノースカロライナ州ア している人たちを中心に八 十九日、バスをチャータ して東へ三〇〇キロ移 アッシュビルにて 京都上桂就(主)奈良いずみ 八幡ぶどうの木 就(兼主)東島美穂 就(兼担)山口義人 就(主)菅野勝之 辞(主)宮島星子 就(主)千葉宣義

金城学院高等学校

辞(主)佐々木美知夫

辞(教)塚本 信

辞(主)加藤久孝

御器所 西九条 大阪福島 泉佐野 マラナ・タ辞(主)藤田正樹 就(代)村上恵理也 辞(主)堤 就(主)星野 辞(代)杉山謙治 辞(主)大屋正博 辞(担)神谷 宣 就(主)杉山謙治 辞(主)杉山謙治 就(主)宮島星子 辞(主)三好鐵雄 辞(担)藤田榮子 就(代)水野隆一 霊南坂

高座渋谷 辞(主)菊池礼子

辞(主)坪内克浩 辞(担)今橋 朗 辞(主)白砂誠一 就(代)小林誠治

就(兼担)秋葉睦子 就(担)押川沢江 長野本郷 羊之舎

督教会関西地方会会長」に、 お詫びして訂正いたしま 方会会長」を「在日大韓基 「在日大韓基督教会西南地 号一面大阪教区総会報告

就(主)矢部 辞(主)柳谷知之 辞(主)尾崎和男 辞(担)矢部 辞(主)中西真二 就(主)柳谷知之 辞(主)大沢秀夫 就(主)三和紀夫 就(主)金井俊宏 氏を「安部金一」氏に、 詫びして訂正いたします。 お詫び・訂正 号三面消息欄「阿部金

挊 ″ 辞(主)小田島久子 辞(代)邑原宗男 就(主)生嶌陽子 静岡英和女学院中学・高校

辞(担)塚本洋子辞(主)猿谷恭平

報

辞(代)横山ゆずり 就(主)小田島久子 辞(主)相良昌彦 辞(担)平井克也 静ル岡 (教)大久保直樹

就(主)平井克也 名古屋中央辞(担)若林一義 就(担)伊藤瑞男辞(主)伊藤瑞男

就(主)佐々木美知夫 就(主)为木 哲辞(主)久木 哲 辞(担)有澤禧年 奈良高畑 甲東 東舞鶴 小 阪 大和キリスト 11 辞(主)沖崎 辞(主)湯谷忠興 就(主)中西真二

北備 秋鹿 松江古志原辞(主)葉 辞(主)西間木小代合 辞(主)禁以潔 辞(担)安部 勉辞(担)鈴木義嗣 辞(主)西間木献 就(担)藤川綾子

辞(担)藤川綾子 辞(主)竹前 篤 就(主)湯谷忠興 辞(代)高砂民毅 辞(主)山里勝一 杉並 能代 名油瀬木 志村栄光 " 辞(主)石田 透 就(主)清瀬弘毅 辞(主)江連 辞(主)福田 辞(主)古堅宗伸 哲実

辞(担)関 英晴 辞(担)長村亮介 辞(主)本間敏雄 お詫び・訂正新報四六五 神戸栄光辞(担)三ツ本武仁

就(代)夏村

充

富士見町

都筑讃美

辞(担)押川沢江 辞(主)押川幸男

就(主)奥村益良 辞(主)樋川高康

就(主)押川幸男 辞(主)小橋孝一

辞

辞(主)橋本克彦 (担)永倉喜代子 新報四六五

中国·四川省大地震被災者救援 緊急募金のお願い 主の御名を賛美します。

さった方々に感謝したい。

去る5月12日中国四川省で起こった地震は、マグニチ ード 7.8 という想像を遥かに超える大きなものでし た。報じられているように被害は未曾有で、最新の情報に よれば、約1万9千人以上が死亡し、現在も生き埋めにな っている人々が1万3千人以上いると伝えられ、また、建 物の多くが倒壊、一部損壊したりして多くの人々が怪我 をしており、救援活動が日夜続けられています。 社会委員会は、 Action by Churches Together(ACT)

International の呼びかけに応えて緊急救援募金を行い ます。 度重なるお願いとなりますが、ご理解とご協力の ほど何卒よろしくお願い致します。 2008年5月15日

日本基督教団社会委員会委員長 張田 眞

記 ◎募金期間:2008年12月末 ◎目 標 額:特に定めず

◎送 金 先:加入者名/日本基督教団社会委員会 ◎郵便振替:00150-2-593699

(通信欄に「中国四川省大地震救援募金」と お書きください)

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31 日本基督教団社会委員会(電話 03-3202-0544)

(第三種郵便物認可)

って宣教師になった私はそのため

引っ越しの荷物の中から、この

の教育を受ける機会がありません

の愛する日本の地で永遠の命の希 最愛の夫デイヴィドは三年前走る 私たちが二三年間働き住んでいた 住んでいます。そして、突然では 昨年就職のため帰国し、長男ポー 沖縄でのものです。 あれから月日 かしく思い出しています。これは を就学中です。二人一緒に東京に 涿族の写真を見つけ出し今昔を懐 ルは二二歳となり只今自動車工学 は流れ今長女エリザベスはニュー ーランドでの学びが無事に終え イギリス人である

選んだ。その事が最もたいせつな き時、主人は次のように言って励 つ、主人そして教会の皆様を良き でしたのでただ主の助けを祈りつ に違った歴史そして文化を持って ましてくれました。「主があなたを を受けていない自分を卑下したと 乗り越えさせて頂きました。教育 同僚者として与えられ、一つ一つ 沖縄はみなさんもご存知のよう

の珍しく私自身も外国人と言う思 めて沖縄に行き、見るもの聞くも います。栃木に生まれた私ははじ れて知らない土地で、教 語に直していました。 二 それを私が主人のため英 日本語の通訳者がつき、 語で証をされ、私のため ちが通いました首里教会 では礼拝で高齢者は沖縄 人にとって遠く家族を離 がしました。当初私た 立ちました。その為に沖縄の超教 期しなかった大きな恵でした。 祈ってくださった事は主からの予 くださり、又私の母教会そして個 派のクリスチャンたちが「グレイ らもう一年間沖縄で仕事をつづ を用意してくださっていると確信 は大きな苦しみと共に大きな祝福 恵子を支える会」を結成し支えて ての学びに一年半イギリスへ飛び 人的に多くの友人兄弟姉妹が支え 二〇〇四年、主人が他界してか その後念願だった宣教師とし

スを見上げつつ共に走っていきま りました。残されました日々イエ しょう。ゴールをめざして! 道者として働かせて頂くことにな 道教団の鹿沼キリスト教会にて伝 郷鹿沼の地に戻り、母教会福音伝 大集成として今年四月より私の故 これまでの貴重な体験、学びの

と言う生活の支えになり わりは私たちのこれから 会の皆様のご親切やお交

宣教師からの声

–ルをめざして

グレイ・恵子

(英国メソジスト教会《MC》からの派遣宣教師)

望をもって天へと召されていきま 八八一年主人デイヴィド・グ

れは首里教会が志真志伝

し、嬉しかったこと、そ 二三年間で最も感動

私たちは結婚し、私も宣教師とし を持たせて頂きました。 結婚によ リスト教短期大学にて英語の教師 育の賜物を活かし、主人は沖縄キ た。 二人とも主から頂いた英語教 ご沖縄教区にて働かせて頂きまし **量教師として沖縄に派遣され同年** こして教鞭に立ち、私は子育てを ながら主人と一緒に教会のC イは英国メソジスト教会の教育 バイブルクラス、英会話など

女エリザベスが拒食 す。この時娘は千葉 の大きな出来事は長 た。そしてもう一つ として伝道所の牧会 す。設立までに、主 をしたときの事で 加わり、最初の礼拝 ンジであり喜びでし に関わる事が出来た 人と二人で協力教師 一〇名の中に一緒に 大きなチャレ 道所設立のため派遣した



誕生日を家族で祝う

隠退教師を支える運動 推進活動、30年に

年後に来た試練、すなわち突然主 跡でした。 この神との交わりが八 グレイ家に起こった大きな神の奇 を与えてくださいました。これは びに変え私たち家族に多くの祝福 はこの苦しみを不思議な方法で喜 細っていました。しかしながら主 たが久し振りで会って見ると痩せ

人デイヴィドを失う準備になった

ン深く確信しています。

会」を開催した。 **豈年金局理事長、櫻井淳子** 淳子の委員六名。 陪席者と 長)、井上昌保、大杉弘、奥 で 隠退教師を支える運動・ で、日本基督教団の会議室 野力ネコ、瀧川英子、 って内藤留幸総幹事、髙橋 - 金局事務室長、黒沢咲子 (火) 十一時より十五時ま 出席者は多田信一(委員 二〇〇八年四月二二日 念感謝礼拝」を行い、午後 月二日午前中に「三〇年記 から三〇年になるので、七 団として推進活動を始めて を開催すること、今年は「隠 年度の事業計画案につい を行う旨等を説明して承認 八名による「記念座談会」 退教師を支える運動」が教 て、 | | | 日 (火) ~ | | 日 には委員(常任)と関係者 (水) に全教区推進委員会 次に瀧川書記は二〇〇八

の「教団年金の現況報告」 事長の挨拶、櫻井事務室長 隠退教師を支える運動事務 担当者の一〇名であった。 った。多田委員長、髙橋理 6る内藤総幹事の説教を伺 **込続いて議事に入った。** 、の手紙13章7~8節」に 開会礼拝で「ヘブライ人 まず瀧川書記が二〇〇七 を得た。 可決した。 が実績より下回ることにつ 八年度の会計予算について された計画額を賛成多数で ったが、協議の結果、提示 いては如何?との意見もあ 計画額(案)を読み上げた。 「一〇〇円献金」の目標額 黒沢事務担当者は二〇〇

年度の活動事業報告をして 総額が七五、九〇六、九一五 であったこと、そして献金 示。参加教会数八六〇教会 〇〇円献金」の明細表を提 当者が、二〇〇七年度「一 異議なく承認。黒沢事務担 全委員がこれ 杉委員より、多田、瀧川 て閉会した。 区推進委員)の五名により 鈴木秀信の二名(東京五支 大杉の三名に加え森啓一、 これを承認。以上協議の後: 備を始めたこと等を説明、 「三〇年史」を発行する進 三〇周年記念に関して大

報告をして、

が大きいのだ。 四六メートルにも及ぶテント、 **道から九州、アイスランド、** 5十五メートル、幅十一メー--ストラリアなどに描かれ、

攻。描くことが好きで進んだ道 にったが、 在学中、 既に画家に

取り組んできた壁画群は、北海 保さんが二〇年にわたり制作に **凞戸大橋開通の祝砲に模した高** なく、博覧会パビリオンの高さ かく作品が大きい。壁画だけで 計三千メートルに達した。 とに はど大柄ではない。 むしろ小柄 のだろう、と思わされる。それ ルの祝い旗など、手がけるもの ぼうだ、と思う。しかし、 これだけの力が秘められている もととも芸大では日本画を専 この人の、この体のどこに らしたのは、 のだが、むしろ師に拘らないこ 日本画の枠は全く取り払われて が活躍していた。南海代さんの 半、晩年のA・ウォーホールら 勤に伴う、四年ほどのニューヨ 再開。制作に大きな転機をもた てしまったが ったのだろう 陣からの評価も芳しくなかった なる気持ちが萎えていた。教授 とがのちの自由な作品につなが しまった。 壁画など大作の取組 -ク住まいである。 八〇年代前 描くことは結婚を機に中断し

夫、勝彦さんの転

者だった。死はなかなか受け入

難い。 これを振り切るように

としての南海代さんの良き理解 んを四年前に天に送った。画家 しばらくのちに

るのかもしれない、という。 の潜在的なモチーフになってい

教会で出会い結婚した勝彦さ

とと大きな旗がつながって作品

喜びの中を帰ってくるこ

掲げ戻ってくる漁船を見せてく

った。企業家の祖父がよく魚港

などとんでもないことだ

に連れていってくれて大漁旗を

と久保さん。

った。右の頬を打たれたら左の みもこののち始まってゆく。 小さい頃から負けん気が強か

るゆえの苦しみと、そして喜び

を叫んでいるかのようだ。

基調とする作品群は、生かされ ―ヨークで個展を開いた。 赤を 制作に没頭した。この春、ニュ

久保南海代さん

生かされゆく パッションと喜び



中国・蘇州生まれ。 画家。柿 ノ木坂教会員。

四月十四日から二三日まで退任 報告することとするが、幾つか感 Ունու**մ Ո**րում Մերում Մերում Մերում Մերում

た。一行十七名は明年のプロテス 宣教師への感謝ツアーが実施され て、日本に福音の種を播くべく米 タント伝道開始一五〇年に先立っ うことだ。飛行機とバスで十五時 よくぞ日本に伝道に来られたとい 想を述べさせていただく。 まず何よりもこんな遠くより、

愛の負 の返済

教団を代表して渡米した。

まずはカリフォルニア州クレア

国教会から派遣され来日した奉仕

に対して改めてお礼を言うため、

モントに赴き、四〇名の退任宣教 分かれて各々の集会を意義深く持 師と再会と出会いを与えられ早速 った。詳細はやがて新報紙上でも その後A・B二つのグループに る。宣教師の奉 えぬ労苦に対する感覚というか想 て幾多の困難をも越えて大変な時 像力をいやがうえでも掻立てられ 間かかって移動できる現代と違っ をかけて来日 した。その目に見 仕はあたりまえの のとして、感じた。

感謝のひとときを持った。

ことでは決してなかった。 何よりも愛があった。 多くの犠牲があり、祈りがあり、

謝の思いとともに、圧倒されるも 教会に生きた福音の力を尽きぬ感 わぬ宣教師の信仰、そして祈りを 義学校、社会福祉施設を設立し運 る。教会だけでなくキリスト教主 以て支え切った教会の存在があ 宮しつづけてきた米国のキリスト そしてまた、犠牲を犠牲とも思

る。伝道により返済せねばならぬ。 教団は多くの愛の負債を有す 教団総会議長 山北宣久)